

平成30年11月14日(水)

市民会館うらわ ホール

### 『学校を支える PTA 活動の実践』

発表校：北部支部 埼玉県立妻沼高等学校

- ・昭和54年に当時の妻沼町をはじめとする地域の方々の熱い期待を担い、国宝に指定された「聖天様」で知られる地に開校し、今年40周年を迎えた学校
- ・一番の特色は、平成20年から導入された学校設定教科「カルティベートタイム（通称CT）  
\*15分間の読書 + \*1分間の黙想 + \*教材による勉強  
という流れで毎日1限に実施（1年生）し、つまづき解消・基礎固めに大きな役割を果たしている
- ・ほぼ毎日、学校の出来事がホームページに更新される（校長先生）

#### 【PTA の紹介】

会長以下32人の本部役員（副会長15人、幹事14人、監事3人）を中心に活動

PTA 会員は出身中学校別に7つの支部のいずれかに所属し、進路・生徒指導・文化・厚生 of 4つの委員会のいずれかを担当

#### 【PTA 活動の工夫と改善】

\*進路委員会—毎年9月に就職希望者を対象に先生と保護者による面接を実施

\*生徒指導委員会—毎年11月に学校近くの交差点で、生徒会とボランティア部、先生方と一緒にのぼり旗を使って交通安全キャンペーンを実施

\*文化委員会—轍祭では、バザーを実施し、多種多様な品物を販売（売上金は、生徒会費に寄付）

\*厚生委員会—毎年6月、ソフトバレー大会を開催（PTA は黄色ポロシャツを着用）

\*40周年記念事業実行委員会—10月26日、記念式典が校内で行われ、記念誌を全校生徒に配布（表紙を飾ったのが、生徒・先生方・PTA も参加のドローンによる人文字撮影の写真）

\*PTA 広報誌「さざなみ」—広報委員会がないことから、発行は先生方に頼っている

#### 【感想】

〔PTA 行事に参加するだけがPTA 活動という捉え方から、子供と学校の話をするのも大切なPTA 活動だということを皆様に伝えて行きたい〕という言葉がとても印象に残りました。もっともっと良い学校にしたいという強い思いが伝わってきました。

報告者：萩原良子